

令和2年度 第8回原村総合計画審議会

- 1 日 時 令和3年1月29日(金) 14:15~15:45
- 2 場 所 役場3階 講堂
- 3 出席者 小平恒夫会長、野明晃副会長、半田裕委員、百瀬嘉徳委員、
北原貴穂委員、清水武義委員、永田せつ子委員、小林英夫委員、
宮坂早苗委員、石川高明委員、小倉輝久委員、斎藤志穂委員
- 4 事務局 伊藤弘文総務課長、阿部祐子企画振興係長、小池祐貴企画振興係員
行田裕貴企画振興係員
- 5 欠席者 なし
- 6 議 事
- 野明副会長 会議を開会する。はじめに小平会長よりあいさつをお願いする。
- 小平会長 昨年の地域総合戦略から1年間、原村の未来について計画を議論してきた。
本日は最終答申にまとめて村に提出するため、意見を伺って決めていきたい。
それでは、第5次原村総合計画後期基本計画(案)パブリックコメントについて説明をお願いする。
- 伊藤総務課長 パブリックコメントを昨年11月25日から12月24日まで実施し、8名の方からご意見をいただいた。パブリックコメントでいただいたご意見やご意見に対する村の考え方については、企画振興係長から説明する。
なお、今回の意見の中にはかなり詳細で具体的なものも含まれているが、原村総合計画後期基本計画については、4年後のあるべき姿を示しており、より具体的な内容については、それぞれの分野計画やアクションプランにて計画し、実施していくことになる。
- 阿部企画振興係長 (資料1から資料4により説明)
- 小平会長 意見はあるか。
- 半田委員 2-2-2(P.61)の意見への村の考え方について、共通の子ども感について追記した方がよいのではないか。
- 伊藤総務課長 本文下の部分に追記することは可能であると考えている。
- 半田委員 計画P.20について、景観計画の推進とあるが景観計画は策定しないこととなったはずだがいかがか。
- 伊藤総務課長 景観計画ではなく、景観に対する方針をまとめることとしている。
景観計画の推進は現段階では適切でないため内容を修正させていただく。
修正については、郵送等でお配りし確認していただく方法でよいか。
- 小平会長 その方法でよいか。
(異議なし)
それでは、そのようにお願いする。
他に質問はないか
次に、第5次原村総合計画後期基本計画(案)の答申についてお願いする。

伊藤総務課長 パブリックコメントでいただいた意見と村の考え方は、ホームページ等で公表する。本日の修正箇所を反映した計画をもって答申をすることについてご協議いただきたい。

小平会長 これで答申するということでよいか。

北原委員 答申中の「精査する内容」について、緊急度だけでなく重要度についても考慮した方がよいのではないか。

伊藤総務課長 重要度についても追記をさせていただく。

小平会長 なければ修正したもので答申することよいか。
(異議なし)

伊藤総務課長 計画と答申書の内容について、修正したものは来週の前半にお送りし、確認いただけたら、小平会長と野明副会長に答申をしていただく。

小平会長 次に、今後の進行管理等についてお願いする。

阿部企画振興係長 (資料5について説明)

小平会長 質問はあるか。

宮坂委員 総合計画の下位計画との整合性や運用管理については企画振興係が行うか。

伊藤総務課長 全庁にまたがる基本構想、基本計画、実施計画については企画振興係の所管し、個々の分野計画や個別計画における本計画との調整については各担当課が主幹で行っている。

宮坂委員 最上位計画と各種計画の進行管理を行ってってもらいたい。

伊藤総務課長 今後、庁内で連携をとって対応していく。

小倉委員 個別計画を策定する際は総合計画に基づいて策定するようなルール化が必要ではないか。

伊藤総務課長 答申に盛り込むことについてご協議いただいてはどうか。

石川委員 ぜひ盛り込んでいただきたい。

小平委員 異議がなければ答申に盛り込むがどうか。
(異議なし)

斎藤委員 PDCAサイクルのチェックからアクションまでのスピード感が重要ではないか。

伊藤総務課長 決算の手続き等と計画の検証作業を合理的に行うために、このようなサイクルになっている。令和3年度はこの内容で試行し、今後ご意見をいただきたい。

半田委員 できなかったことを改善していく検証をしていただきたい。

小平会長 その他についてお願いする。

伊藤総務課長 本計画の策定にご尽力いただき感謝する。

副会長 以上で閉会とする。(15:45)